

はつと』などの取り組みもありますが、今後、市民・農協・商工団体・企業等も含めたブランドづくりの組織立ち上げも含め、検討します。

質問 地域農業の振興のために、市内2農協への市からの支援は今までも行われてきました。来年7月開設予定のJA岩手ふるさとの大型産直への支援について伺います。

市長 計画中の産直は、農産物等の販売に限らず、6次産業化を図り、農家にとって持続可能な農業を発展させる重要な中心施設であります。今回、国から被災5県への復興補助も入る予定であり、県への補助も含め、市としても一定の支援を行います。

○江刺総合支所庁舎の活用について



さとう くに お夫 佐藤 邦夫

質問 江刺総合支所は平成12年度に建設費57億円で建てられ、その財源は旧江刺市民と市職員の絶大な協力で積み立て、わずか2、3億円程度の借り入れで建設された江刺区民のシンボルともいえる



有効利用を検討する江刺総合支所

建物です。現在は職員も大幅に削減され、訪れる市民も少なくなり、広大な駐車場も合わせて泣いている状態です。この庁舎を有効に活用することが、奥州市の発展につながるかと確信します。又資産価値も高いので、活用の仕方では奥州市の財政面にも大きく寄与出来ます。そこで提案ですがこの庁舎を奥州市と岩手県の防災拠点としての活用、更に岩手県南広域振興局としての活用を提案したいと考えます。もちろん江刺区民の利便性や庁舎に対する思い入れ等も考慮に入れ、1階の部分は奥州市役所江刺分室として活用することを踏まえて、市長の考えをお尋ねします。

市長 以前にも県南広域振興局と

旧江刺市役所との交換も含めた話も話題に出たこともあります。旧江刺市役所は庁舎も新しく駐車場も広く又ヘリポートも完備しています。これを有効利用することは議員のお話の通りです。現在も防災拠点として利用していますが、更に岩手県とも連携しながら今回の大震災の反省や教訓として市民の安全の為に有効利用したいと考えます。又シンクタンクの提言にもあります県南広域振興局と江刺総合支所の交換も含め、江刺区民を始め関係者とも話し合いながら、任期中には結論を出したいと考えています。

○協働のまちづくりについて



ちく ば ち 悟 郎 千葉 悟郎

質問 市長の、選挙の際のマニフェストにおいても、また今年度の施政方針においても、重要政策の一つとして「協働のまちづくり」を掲げております。ところが未だ協働のまちづくり指針が示されておりません。そのために各地区振興会において混乱がおきておりま

す。協働の趣旨とあわせてお尋ねします。

市長 協働のまちづくり指針が遅れていることは、大変申し訳なく思っておりますが12月中旬に指針の素案を示すことができる状況になっております。また協働の趣旨は、地区振興会等の活動に対して交付金を支給して支援する方策と考えています。

質問 まちづくり交付金は、地区振興会のコミュニティー計画に沿った申請とのことですが、すでに交付されている各地区振興会の一覧表を見ると町内会に一律の支給しているところもあります。交付金の審査・決定はどこで行っているのか伺います。

市長 まちづくり交付金は、地域の創意と工夫、判断と責任においてどの事業に、どのような優先順位によって実施するかを地域住民自ら決定し、活用できる支援制度であり、地区振興会等において、十分な話し合いが出来て、自主・自立的な活動ができるようにしていただくものであります。

質問 来年度から公民館と地区振興会の拠点としての地区センターの役割についての条例化が必要と思われませんが、どのように考えているのか伺います。